

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月16日

宮崎市長 清山 知憲 殿



提出者

住 所 宮崎市佐土原町下田島20048番地

九州中川ヒューム管工業株式会社

氏 名 代表取締役社長 酒井 久典

電話番号 0985-73-1511

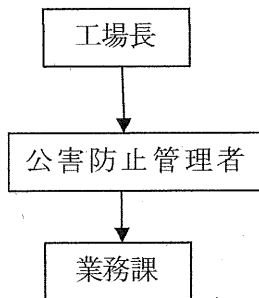
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	九州中川ヒューム管工業株式会社
事業場の所在地	宮崎市佐土原町下田島20048番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	窯業・土石製品製造業
②事業の規模	生産量(令和4年度) 21,800 t
③従業員数	85名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類(コンクリート殻) → 中間処理委託(破碎) → 再資源化 ガラスくず・陶磁器くず → 最終処分委託(安定型埋立) 廃プラスチック類 → 中間処理委託(分別) → 最終処分委託(安定型埋立) 発泡スチロール類 → 中間処理委託(分別) → 最終処分委託(安定型埋立) 安定型混合廃棄物 → 中間処理委託(分別) → 最終処分委託(安定型埋立) 蛍光灯 → 中間処理委託(分別) → 最終処分委託(安定型埋立)

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	発泡スチロール	安定型混合廃棄物	蛍光灯
	排出量	1370.00t	816.0t	0.28t	0.02t	18.59t	0.022t
	（これまでに実施した取組） ・コンクリート殻（がれき類）は中間処理場にて破砕し、再利用を委託 ・ガラスくず・陶磁器くずは最終処分場（安定型）にて処理を委託 ・廃プラ、発砲、安定型混合廃棄物、蛍光灯は、中間処理場で分別し、安定型処分場にて処理を委託						
② 計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	発泡スチロール	安定型混合廃棄物	蛍光灯
	排出量	980.00t	750.0t	0.23t	0.01t	17.00t	0.010t
	（今後実施する予定の取組） ・コンクリート殻（がれき類）は中間処理場にて破砕し、再利用を委託 ・ガラスくず・陶磁器くずは最終処分場（安定型）にて処理を委託 ・廃プラ、発砲、安定型混合廃棄物、蛍光灯は、中間処理場で分別し、安定型処分場にて処理を委託						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・保管場所を決めて、混入しない様になっている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状どおりの処理を行う。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
—		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
—		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4度 ）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	発泡スチロール	安定型混合廃棄物	蛍光灯
	全処理委託量	1370.00t	816.0t	0.28t	0.02t	18.59t	0.022t
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	1370.0t					
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート殻（がれき類）は中間処理場にて破碎し、再利用を委託</li> <li>・ガラスくず・陶磁器くずは最終処分場（安定型）にて処理を委託</li> <li>・廃プラ、発砲、安定型混合廃棄物、蛍光灯は、中間処理場で分別し、安定型処分場にて処理を委託</li> </ul>							

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラスくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	発泡スチロール	安定型混合廃棄物	蛍光灯
	全処理委託量	980.00t	750.0t	0.23t	0.01t	17.00t	0.010t
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	980t					
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	(今後実施する予定の取組)						
・ガラスくず・陶磁器くずの排出抑制の検討を行う。							
※事務処理欄							

